

特別養護老人ホーム『いちご』

部署 : 運営

令和5年度の成果／目標達成できたもの

①-3	器具・備品を充実させ、職員の身体負担を軽減する。
①-5	設備・備品の更新を継続する。
②-1	大木町社会福祉法人連絡会活動の推進。

令和5年度の反省／目標達成できなかったもの

①-1	看護職を充足させると共に介護職の配置を維持し、余裕のある人員配置を確保する。働きやすい職場環境を整える。
①-2	施設全体のサービスレベルを向上させる為に職員個々の能力を向上させる。
①-4	入所実稼働(入院除く)95%、短期入所75%、合計で92%。通所利用者20.0人/日为目标とする。
②-2	地域との交流を推進し、当法人として出来る活動を行う。

＜令和6年度方針＞

活動方針／目標

①	介護保険施設として安定した運営を継続出来る体制(人員・設備・財務)を整える(2年目/中期5年)。
②	社会福祉法人として地域に貢献できる活動を行う(2年目/中期5年)。
③	
④	
⑤	

目標達成のための具体的な施策／活動

①-1	介護スタッフを確保し余裕のあるシフトを確保する。
①-2	職員の負担の軽減。
①-3	施設全体のサービスレベルを向上させる為に職員個々の能力を向上させる。
①-4	入所実稼働(入院除く)95%、短期入所75%、合計で92%。通所利用者20.0人/日为目标とする。
②-1	大木町社会福祉法人連絡会活動の推進。
②-2	地域との交流を推進し、当法人として出来る活動を行う。

詳細

①-1	産休・育休の代替スタッフを確保する。介護スタッフの責任者を選任し部署間・職員間の意思の疎通をスムーズに行えるようにする。有給の取得率80%を目標とする。
①-2	超低床ベッドや各種車椅子の導入継続や補助金を活用したICT機器の導入と十分な活用により身体的・精神的負担を軽減する。Lifeデータの活用による一律ではなく個々に合わせた対応。
①-3	認知症実践者・リーダー研修に各1名以上の参加による認知症対応力の向上。介護支援専門員資格等の取得に対するバックアップ。職員のレベルに合わせた研修受講の再開。
①-4	柳川・筑後方面の施設との連携を図り入所や短期入所の紹介元を増やす。通所の大幅な改革。
②-1	大木町社協と連携し福岡ライフレスキュー事業の活動を推進する。
②-2	グラウンドや備品の貸し出し、体験学習の受け入れ等を再開する。